



ゆくて遥かに

平成31年2月4日(月)

第44号

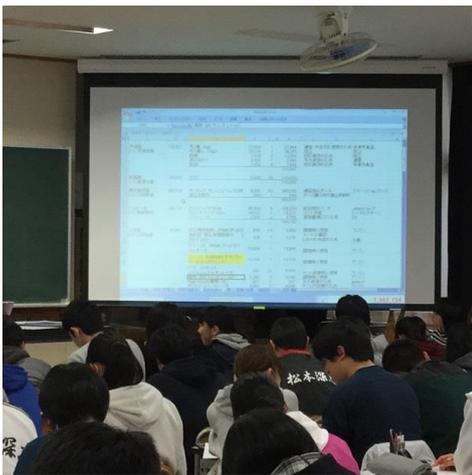
長野県松本深志高等学校長

折衝会行われる(1月28日~2月1日)

2019年度の生徒会一般会計予算(総額約650万円)に係る**折衝会**が1月28日の月曜日から行われました。生徒会の予算を要求するすべての委員会、クラブ、生徒会本部など71団体の会計担当者が一堂に会して、来年度の予算を分配するのが今回の折衝会の目的です。今年の予算要求総額は**約142万円のオーバー**という、昨年度に比べると割合穏やかなスタートとなりました。以前にも書きましたが、生徒会の予算を生徒自身で決定することは「自治」の基盤だと思います。その品物は本当に必要なのか、その数は適当なのか、その価格は適正なのか、こうすればもっと安くできるのではない



か、昨年度より増えているのはなぜか。この議論においてスマートフォンの果たす役割は大きく、今や折衝会の必須のアイテムとなっています。もちろん、出席者はそれぞれの団体を代表して出てきているだけあって事前によく研究してきており、予算減の意見にも簡単には応じず、オーバー分を減らすための厳しいやり取りが会議の中で毎年繰り広げられます。こうしたプロセスを当事者である生徒が踏むことで、お金の使い道を真剣に考え、大事に使っていこうという意識も生まれるのでは、と期待しています。今年の折衝会、結局、超過分が全て解消されたのは2月1日の17時過ぎ、五日間をかけて来年度の予算案は無事決定を見ました。



図書館ゼミ「本屋さんのお仕事(平安堂の場合)」(1月29日)



本校の特色の一つである自主ゼミを精力的に開催している図書委員会、今年度最終回は**平安堂書籍事業部長の長崎深志氏**をお招きして、「本屋さんのお仕事(平安堂の場合)」という演題でお話をいただきました。上記折衝会が諸般の事情のため、予定より一週間遅い開催となり、本ゼミと日程が重なってしま

いましたが、生徒15名、教員3名の出席を得て、活発に意見交換が行われたようです。事前の図書館だよりは、「ネット書店の攻勢にリアル書店はどう動くのか、町の本屋さんは生き残れるのか、アルバイトは割引ありってホント?、この分野の本を揃えたら高校生利用が増えるのに、など日頃の疑問を解いてみましょう」とありました。日頃の疑問は解けたでしょうか。



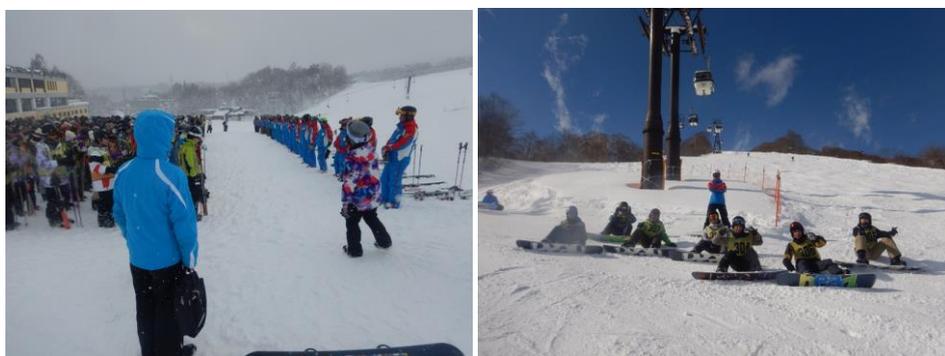
世界一スゴい書店「誠品書店」(台湾)

他県との違い（1月23日）

今年、**一年間の交流人事**ということで**福井県**の高校から先生が一人長野県に来られて、本校で勤務しています。任期終了を目前にして、福井県の高校の様子をじっくりと聞いてみよう、職員研修会を1月23日に開催しました。教師、生徒、学校の歴史、伝統、地域の風土やそこに暮らす方々等によって各校独自の雰囲気や校風は生まれ、「学校文化」と呼ばれるものを創り出してきました。そしてその学校文化は、学校ごと、あるいは地域ごとに特色があって決して全国共通のものではないことを、様々な機会に気づかされます。例えば、クラス担任は三年間の持ち上がりではなく一年ごとの交代が普通にあること。クラス替えを行うことが基本であること。いわゆる進学校と呼ばれる高校でも生徒指導は厳しく、（制服があるので）スカートの丈や靴下の色も指導されること。それぞれにメリットとデメリットがあるとは思いますが、長野県の当たり前は他県の当たり前ではないということを、職員全員で改めて確認した研修会となりました。



その他の話題をいくつか



★ 前号でお伝えしましたが1月24日～25日に行われた1学年のスキー・スノーボード教室の写真を入手しましたので掲載します。一日目は若干吹雪模様、二日目は好天に恵まれ、存分にウィンタースポーツを楽しめたようです。

★ 2月3日土曜授業の2時限、2年生の地理の授業を公開しました。RESASなどを利用した研究授業の一環ですが、必要なデータを調べるために一人一台のタブレット端末を活用して授業は進められました。どの教室にもWi-Fi環境が整備されれば、さらにいろいろな可能性が広がりますね。

★ 国公立大学二次出願状況の中間集計が1日、文部科学省から発表されました。まだ募集人員に対する全体の倍率は0.9倍、出願期間は6日まで。3年は人事を尽くすのみです。



今週の予定（A1）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
4	月	学年会	総文祭実行委員会解散会
5	火		中信校長会、附属中学校評議員会
6	水	職員研修会	卒業式打合せ
7	木		
8	金		校長研修
9	土	1・2年模試	東京同窓連新年懇親会
10	日		
11	月		
12	火	(B1) 学校評議員会 学年会	公立学校共済長野支部運営審議会